

第181回一関市教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 平成30年6月26日（火）午後2時00分

閉会 平成30年6月26日（火）午後3時28分

2 会議の場所

議会第2委員会室

3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 小野寺眞澄

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	千葉敏紀
一関図書館長	千葉秀一
教育部次長兼学校教育課長	小山祐二
教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長	佐藤武生
教育総務課長	中田善久
いきがづくり課長	伊東吉光
教育総務課長補佐兼庶務係長	千葉由紀（記録）

5 議題及び議決事項

議案第11号 一関市長の権限に属する事務の補助執行に係る分掌事務規程の一部を改正する訓令の制定について（可決）

議案第12号 一関市立図書館協議会委員の任命について（可決）

議案第13号 一関市博物館協議会委員の任命について（可決）

6 報告

(1) 行事報告及び7月行事予定について

(資料No.1)

7 その他

- (1) 平成30年度学校教育行政の重点について（キャリア教育）（資料No.2）
- (2) 東山小学校校舎等長寿命化改修等工事の基本設計について（資料No.3）
- (3) 第7回総合教育会議について

8 会議の議事

○**教育長** 定足数に達しておりますので、只今から第181回一関市教育委員会定例会を始めたいと思います。

よろしく申し上げます。

議案第11号 一関市長の権限に属する事務の補助執行に係る分掌事務規程の一部を改正する訓令の制定について

○**教育長** 2番、議事に入ります。

議事日程第1、議案第11号、一関市長の権限に属する事務の補助執行に係る分掌事務規程の一部を改正する訓令の制定について、事務局、提案よろしく申し上げます。

○**教育総務課長** それでは資料3ページをお開きください。

一関市長の権限に属する事務の補助執行に係る分掌事務規程の一部を改正する訓令の制定について、ご説明申し上げます。

（説明）

○**教育長** 補助執行に係る部分の改定であります。学校教育課部分のこれは、幼稚園等のお金に係わる部分の補助執行ということだと思います。

それから、あとは民俗資料館の管理運営ということですよ。

これについてご質問、ありましたらよろしく申し上げます。

私から、一関市民俗資料館の管理運営について、この間の議会で条例について、可決され施行することになったわけですが、簡単にでいいですから、概要を話していただければと思います。

○**文化財課長** 一関市民俗資料館でございますが、閉校しました旧渋民小学校の校舎を活用いたしまして、民俗資料などを展示しようとするものでございますが、1階につきましては、この4月から渋民の市民センターとして、既に開館をしております。

（民俗資料館は）2階を予定しております。

民俗資料館につきましては、開館の目安は、11月を目指しており、現在工事中でございます。

2階部分でございますけれども、施設整備にかかる費用の関係等がございます、2階全部の内、一部、1階、2階ともでございますが、閉じた格好で使えない部分がございますけれども、今工事中だということです。

それから、展示につきましては、この一関全体、かつてのこの地方に住んでいた方々の暮らしとか、生業を紹介しようとするような内容になりますが、現在市内各地に収蔵してございます市民から寄附を受けた民具や農具などを展示いたします。

頂いている資料といたしましては、主に明治に入ってから、昭和の30年代、いわゆる、農業の機械化などが始まる前までの人力で、あるいは、牛や馬を使って耕作をしていたというような、そういう時代までの物が主でございますので、展示の時代的なところも、そのような機械化が始まる前までの農具とか、農家の人の暮らしというのを表すような展示になるということで、今準備を進めております。

テーマといたしましては、農家の暮らしというのが、一つの大きなテーマでありますけれども、農家の暮らしとしては、農民の1日の暮らし、あるいは、四季の農作業を通じた1年の農作業等の暮らし、それから生まれてから亡くなるまでの人の一生をあらわすような展示、そのようなことが一つのテーマとしてございます。

もう一つは、この地方の産業を幅広くということで、農業はそのとおりですけれども、それ以外に山であれば、木を切り出すといったような、そういう山関係の仕事、あるいは、養蚕、葉煙草といったようなことも、この地方のこれまでの生活をあらわすものとして含まれます。

それ以外に民俗ということで、民俗芸能の獅子踊りですとか神楽、そのような衣装の展示をとおしての民俗芸能の紹介、あるいは、年中行事のような、例えば、年越しから年の初めにかけて色々なお飾りなど、そのようなものを通じて、地域の人々の信仰の一端ですとか、そのようなものに触れていただくような展示を考えております。

それから若干ですが考古資料、いわゆる、出土した遺物もございますので、更に古い時代の道具といったようなところで、土器ですとか石器といったような紹介もしたいと考えております。

大まかに言うと以上でございます。

○教育長 条例で決まったのは、入館料が無料ということが条例の中にはないのですが、ないということは自動的に無料ということなのですか。

○文化財課長 入館料については、お示しした条例等では規定していない。

つまり無料ということでございます。

前回の教育委員会議で議会にかける資料として、お示したところでございます。

○教育長 わかりました。

後、どうでしょうか、いかがでしょうか。

よろしいですか。

私からも一つだけ、芦東山、せんまや街角、石と賢治のミュージアム、大籠キリシタンのいわゆる、教育施設ですが、図書館と博物館は図書館法、博物館法の法律上、教育委員会の所掌事項になっていますが、これらの教育施設は本来的には市長の管理運営事項になっているという解釈で、市長から補助執行を受けて教育委員会が対応しているというふうに解釈してよろしいですか。

○文化財課長 市が設置をし、それを教育委員会部局で補助執行を受けているという、一関市としては、そのような決め方になっております。

ただ、博物館のいわゆる、類似施設ということになっておりますので、市の定めは、そのとおりでございますが、本来は教育委員会が整備をして作るのですが、建前上は市が整備をし、教育委員会に補助執行させるというような位置づけになっております。

○教育長 よろしいでしょうか。

それでは、議案ですので、議決を求めたいと思います。

議案第11号、一関市長の権限に属する事務の補助執行に係る分掌事務規程の一部を改正する訓令を制定することについて、承認ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ありがとうございます。

それでは承認ということで、よろしく申し上げます。

議案第12号 一関市立図書館協議会委員の任命について

○教育長 それでは次に、議事日程第2に移ります。

議案第12号、一関市立図書館協議会委員の任命について、事務局。

○一関図書館長 それでは、資料の5ページをお開き願います。

私からは、議案第12号についてご説明を申し上げます。

(説明)

○教育長 図書館協議会委員の任命であります。

ご質問よろしく申し上げます。

○千葉委員 5ページに公募委員が2名ということになっているようですが、これは何名ぐらい応募して、その内から2名選ばれたということになるのでしょうか。

○一関図書館長 このお二人の公募委員につきましては、前任からの引継ぎということで、図書館の運営に資すると認められる者2人ということで、任命をしたいと考えている方々でございます。

- 千葉委員 前回から引き続きということですか。
- 一関図書館長 そうです。
- 千葉委員 ということは、何年目かになるわけですね。
- 一関図書館長 新一関図書館が出来たときからです。
- 千葉委員 そうですか。
- それは、任期は何年なんですか。
- 一関図書館長 2年でございます。
- 千葉委員 任期は2年。
- それを継続してきているということですか。
- 一関図書館長 そうです。
- 千葉委員 了解しました。
- 教育長 その他、いかがでしょうか。
- 私から、おおよそでいいですが、平均年齢は何歳になるでしょうか。
- 一関図書館長 最年長は76歳です。
- 最年少が41歳で、平均は50歳レベルでしょうか。
- 教育長 わかりました。
- その他、いかがでしょうか。
- 千葉委員 会議は年何回ぐらい行われるのですか。
- 一関図書館長 年2回を予定してございます。
- 千葉委員 年2回、わかりました。
- 小野寺委員 先ほどの公募委員2名の他に、引き続いてやっている方達というのは、何名いらっしゃるのでしょうか。
- 一関図書館長 殆んど再任という形です。
- 全員ではございません。
- 教育長 新任の方だけ、言っていた方がいいですか。
- 一関図書館長 3名の方です。
- 教育長 3名、16分の3ということですね。
- 他、いかがでしょうか。
- 千葉委員 再任の回数というような規定は特にはないのですか。
- 一関図書館長 制限はございません。
- 千葉委員 なし、わかりました。
- 教育長 私から意見ですが、16分の3、16分の13が継続なんですけど、半分以上というのは、ちょっと多いかもしれないけれども、3分の1から4分の1ぐらいの回転はやはりあ

った方が良い。

継続が多いので次回は少し、2年任期の後には少し代えていった方がいいのではないかと、その方がいろいろな部分で、ご意見をいただけるのかなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

その他。

○伊藤委員 一関市の教育の中で図書館に関する市の、教育委員会もそうですけども、力の入れ方が非常に多大だと思いますけども、この図書館協議会委員の人たちの影響というのはどのようなものがあるのでしょうか。

かなり充実しているとは思うのですね。

ここ1、2年充実してきたなと思いますが、そういう意味でどのような影響力が、この組織にはあるのでしょうか。

○一関図書館長 例えば児童の読み聞かせを担当している方々がおられたり、あるいは新聞社に勤務の方がおられたり、それぞれのご専門の分野で、ご提言やご意見を賜っております。

それから若者サポートステーションの職員の方とか、修紅短期大学の先生がおられたり、広範な分野においての図書館に対するご提言やご意見を頂戴してございます。

○教育長 私も図書館協議会には毎回出席していますけども、色んな意見をいただいて、事務局側もなるほどなと思うような、今後の運営の参考になるご意見を随分いただいております。

これも色んなジャンルの方々が沢山入っているのです、そういう部分では広い意見を吸い上げられているのかなと思っておりました。

それでは、よろしいでしょうか。

これについて、議決を求めたいというふうに思います。

図書館協議会委員につきまして、委員の任命につきまして、このとおりでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは、異議なしということで、議決したいというふうに思います。

議案第13号 一関市博物館協議会委員の任命について

○教育長 議事日程第3、議案第13号、一関市博物館協議会委員の任命につきまして、教育部長。

○教育部長 それでは、6ページをお開きいただきます。

議案第13号、一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて、提案理

由を申し上げます。

(説明)

○**教育長** それでは、議案第13号につきまして、博物館協議会委員の任命につきまして、何かご質問ありますか。

○**千葉委員** まず、これは1年間に何回ぐらい会議が持たれるのかというのが、第1点。第2点、この3人だけが、委員なのかどうかということ。

それから第3点、すべて学校関係ということで、何らかの民間的なご意見を伺うような形になった方が良いでしょうが、その点はいかがなのか。

○**教育部長** 開催回数については博物館に確認しますが、先ほど図書館と同様に運営等々についてというようなことで、ご意見をいただきますので、2回程度ではないかと考えてございます。

委員につきましては、先ほど条例のところでも話しましたが、学校教育、社会教育、それから学識経験者ということで、昨年7月1日付で選任した方々は全部で15名いらっしゃいます。

その内、学校教育、校長会ですとか、この記載の方などが4名。

社会教育が、文化財調査員ですとか、県南史談会幹事の方等々で5名。

学識経験者が、盛岡大学職員の方ですとか、県立美術館、いわいの里ガイドの会や岩手日報社の販売局の方もございます。

それから、家庭教育の実践者が一人ということで、まんべんなく、ある程度、学校教育に偏らない形で任命をさせていただいているという状況でございます。

○**千葉委員** そうすると15名の内の新しく委員になる3名だけが、ここに載っているということですね。

○**教育部長** こちらについては、あくまでも退職、転任等の補充委員ということですので、今回は3名のみの提案ということでございます。

○**教育長** よろしいですか。

例年は年2回行っておりまして、私もこの場には必ずに行くようにはしております、これもまた、様々な意見をいただいております。

非常に高い評価の意見もあれば、後はあまりにも学芸員が外に出る回数が多いのではないかという意見や、様々な部分から意見をいただいて、運営に役立っているところであります。

その他、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

○**佐藤委員** 博物館協議会委員の協議する内容というのは、恐らくは一関市博物館に関する

る協議ではないかと思われませんが、先ほどの第11号議案にありました芦東山記念館や、今度できる民俗資料館等、他の博物館相当施設について協議をするような機会というのは、あるのかどうか教えていただきたいと思えます。

○**教育部長** 委員さんからお話ありましたとおり、博物館協議会については、博物館の運営に関する基本的事項を審議するということになります。

お話にございました芦東山記念館につきましては、芦東山記念館の運営に関する協議会を別途設置してございますので、芦東山に関わる部分については、そういう場で協議をいただいているということでございます。

○**教育長** よろしいですか。

○**佐藤委員** それ以外の施設も、それぞれに委員会があるということですね。

ありがとうございました。

○**教育長** その他、よろしいですか。

それでは、議案第13号、一関市博物館協議会委員の任命に関する議決に入りたいと思います。

提案のように委員を任命することで、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、異議なしということで任命について、議案どおり可決しました。

議事については、以上で終わります。

報告(1) 行事報告及び7月行事予定について

○**教育長** 3番、報告に移ります。

行事報告及び7月行事予定について、資料ナンバー1をご覧ください。

それでは、私から行事報告を行いたいと思えますが、前回は第10週、5月29日が教育委員会定例会でしたので、それ以降の部分について報告いたします。

31日、教育民生常任委員会がありました。

議会の休会中でありましたが、花泉の小学校の用地候補地についての話を教育民生常任委員会の中でしたところでもあります。

現在、花泉小学校の用地につきましては、まだ、土地改良区と協議中でありまして、それが済んでないので、土地の購入という段階まで至ってないところでもあります。

土地改良区との協議が、結構平らな所ですから、排水についての弊害が出ないような形でどうやっていくかということについて、ずっと協議中でありまして、それに時間がちょっとかかっている関係で、土地改良区の総会を開いてそれに同意をいただけていないところの状況でありますので、少し足踏み状態になっているところであります。

総会でもって了解をいただいた後に、土地の売買に入ると、購入に入るという流れでありますので、もう少し時間がかかりそうな気配でありますので、協議が数カ月続く可能性があるということをお話ししておきたいというふうに思います。

なお、ここに書いてないのですが、室根地域の小学校の統合のことにつきましても、室根地域でも、統合検討委員会の話題になっておりまして、このことについて今年度、再びどういう方向でやるかということについて、協議を再開する予定であります。

次に、6月1日、社会教育委員会議がありました。

20名の委員で、新しいメンバーでの社会教育委員会議であります。

社会教育委員会議は議決よりも、色んな意見をいただくという役割のほうが強いわけですが、30年度の社会教育事業について説明の後、当日、図書館で会議を行いましたので、図書館内部の見学もしていただいたというところでもあります。

6月3日、中学校通信陸上一関地区予選、小学校の陸上競技大会岩手県大会の予選ということで小学生366名、中学生436名が参加した合計800名ぐらいの大会でありました。

3位までの子ども、あるいは標準記録を突破した子どもが、それぞれ県大会に行くという、その予選を兼ねての大会でありました。

天気にも恵まれた中、様々な競技が行われたところであります。

第11週、6月4日、岩手県の高等学校文化連盟の会長が教育委員会においでになりました。

平成31年、来年ですが、高校文化連盟の開会式を一関文化センターで行うという予定になっておりまして、盛岡四高が事務局になっていきますので、盛岡四高の校長先生初め、おいでになりました。

一関、この地区では、実行委員会が一関二高の校長を中心に結成されることになっておりまして、今後、その準備がなされるのではないかなと思います。

ただ、高文連の大会は県内各地で行われるので、開会式をここでやるということであります。

6月5日、一関地域教育振興推進協議会の総会、情報交換会がありましたけども、それぞれの地区で教育振興運動の総会が行われていますけれども、一関地域については七つの実践区が集まった協議会であります。

今年度は、巖手地区が実践区ということで12月に発表することになっております。

昨年度は滝沢、弥栄地区でありました。

今回、会長が変わりまして、前の舞川幼稚園の園長先生だった方が、教育振興運動協議会の会長になったということであります。

6月6日、両磐地区租税教育協議会の定期総会がありました。

これは私が、この総会の会長役を例年やっておりますので教育関係者、それから税務関係者が1年に1回集まって、租税教育について色々意見交換を行うという機会であります。

学校では、それぞれ租税教室をやっていたいておりますが、税務署等から来てもらって、お話を受ける機会ではありますが、昨年度は小学校27校、中学校8校で実施していただきました。

色んな工夫をしながら租税教育について、展開しているところであります。

次に第12週、6月11日、算数数学学力向上研修会が猿沢小学校でありまして、東京学芸大学の附属小金井小学校の加古希支男先生が6年生の授業をやっていただきました。

21名の市内の先生方の参加で、行ったところでもあります。

一生懸命、子ども達もやっていましたが、少し表現力という部分については、課題があったのかなというふうに思っております。

6月12日、市議会の本会議がスタートして、22日金曜日まで続きました。

次のページ、2ページをお願いします。

6月19日、奨学金の選考委員会の2回目がありました。

これは、この時期6月19日に二次募集を行ったところではありますが、一次募集は昨年度の2月、今年になりますけども、今年の2月に一次募集をやっております。

早く決めて、早く支給できるようにということで、去年からそういう形でやっておりますが、一次には59人、二次には19人応募があったところです。

高校生月4,000円、高専生月8,000円、大学生月1万2,000円の奨学金の選考を行ったところでもあります。

6月21日、ILCのセミナーがあり、3人の講師による講話がベリーノホテルであったところでもあります。

東北ILC準備室の県立大学の学長、鈴木厚人さん、県のILC推進室長、佐々木淳さん、KEKの名誉教授の吉岡正和さんに来ていただきまして、ILCの状況等についてお話いただきました。

私も聞いてきましたけども、5月末に福岡でも国際会議がありまして、昨日も別の会議があつて新聞に載っておりますが、日本の政府に積極的にILCの推進の姿勢を見せていただきたいという決議がなされたようでありまして、もう一步、進めると日本の誘致の姿勢が明らかになるのではないかなという、非常に目前に迫っているという雰囲気でのILCセミナーの会合でありました。

6月22日で市議会の本会議は終わっております。

議会の最終日に市長より行政報告ということで、狐禅寺の一般廃棄物の処理場の件につきまして、狐禅寺を当初、案としながら進めていたところではありますが、この件について

は、狐禅寺以外のところを第三者機関に検討を委ねながら、今後検討していくことになる
ということの行政報告があったところであります。

これについては皆さん方、新聞でご覧なつたとおりであります。

第14週、今週であります、本日6月26日の午前中に一関市の教職員の初任者研修があ
りました。

初任者は、小学校12名、中学校3名、合計15名が今年度一関市に初任者として勤めてい
るところであります。

行事報告については以上であります。

報告について何か、ご質問ありますでしょうか。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○**教育長** それでは行事予定につきまして、教育総務課長お願いします。

○**教育総務課長** それでは、教育長の明日以降の日程について、ご説明いたします。

(説明)

○**教育長** 行事予定について説明ありましたが、まず、教育委員会の定例会につきまして、
7月25日、2時からということで、委員さん方いかがでしょうか。

(「大丈夫です」の声あり)

○**教育長** それでは7月25日、2時から教育委員会定例会ということでよろしくお願
いします。

その他、行事予定につきまして、何かご質問がありますか。

山形への研修、後で説明ありますね。

○**教育総務課長** はい。

○**教育長** 今年度の総合訪問がスタートいたします。

7月6日が皮切りであります、永井小学校の総合訪問であります。

是非、参加をよろしくお願ひします。

学校教育課長、年間何回の総合訪問だったでしょうか。

○**学校教育課長** 2回か3回。

○**教育長** 総合訪問や学校公開がありますけども、都合のつく限り、是非見ていただ
ければと思います。

今回は永井小学校ですので、1番、一関でも最南端の学校であります。

よろしくお願ひします。

例年どおり行いますが、前段が教育委員さん方の全体の会合でありますので、是非そ
こで質問をしていただければ、ご意見でも結構ですけども、していただけると学校のほうも

非常に参考になると思いますので、是非、よろしくお願ひしたいと申します。

行事予定につきましてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、次に移りたいと申します。

その他(1) 平成30年度学校教育行政の重点について (キャリア教育)

○教育長 4番のその他に移ります。

3点、内容がありますけれども括弧1、平成30年度学校教育行政の重点につきまして、これは毎回、一つテーマを絞ってやっておりますが、今回はキャリア教育ということで、これを学校教育課長、説明をお願いします。

○学校教育課長 資料ナンバー2を見てください。

重点項目の三つ目、キャリア教育ということで、幼稚園、小中学校の発達段階に応じ、地域に根差したキャリア教育を実施し、社会人基礎力を育みますということであります。

(説明)

○教育長 それではキャリア教育、本市の重点の三つ、ことばの力を育てる教育、学力向上、そしてキャリア教育と大きな3本柱の一つキャリア教育についての説明、紹介でありました。

もし、ご質問等あれば、是非どうぞ。

○佐藤委員 聞き逃してしまったかもしれないのですが、このキャリア教育を一関市として、現在の取組みをお話いただきましたが、少し振り返って、いつ頃から特に力を入れてきたというところが、もし、わかれば。

また、例えば中学生が成長して、実際に社会人になってらっしゃる方が、このキャリア教育がどのように役立つかということが、わかるような事例があるかどうか。

二つ、もし、わかれば教えていただきたいと申します。

○学校教育課長 平成18年度に文部科学省の「キャリア教育実践プロジェクト事業」を受け、県内でも最初に実施した地区でありまして、それからずっと続けております。

二つ目については、例えば、千厩地区で就労している青年の声として、自分は今、介護事業に勤めているのだが、実は介護に興味はなかった。

この社会体験により介護事業所で勤めるようになったそうです。

その時に、介護の仕事のすばらしさに触れて、この仕事に携わることになりましたと、そういう話も聞いているので、直接的でありますけれども、間接的にも子ども達にとっては非常に貴重な機会となっているというふうに捉えています。

そういう声もありました。

○佐藤委員 ありがとうございます。

○教育長 その他、いかがでしょうか。

私から、先ほど、学校教育課長が課題だと思われるところと話しましたが、その課題についてお話ししていただけますか。

○学校教育課長 企業さんから指摘されたのは、9割以上は肯定的でありまして、メリットがないとの指摘は363社の内、2社だったのですが、その中身は共通していて、子ども達のあいさつや積極性の低さ、目的意識が低い子が居ると、この点が事業所さんから指摘されております。

これについては、先日、私が参加した担当者連絡会議で、子ども達が是非目的をもって参加させるような仕組み、展開をお願いしたところであります。

○教育長 受入れ等されている小野寺委員さん、直接関わってはいないでしょうけども、お話等々何か、もし、ありましたら。

○小野寺委員 子ども達が、どこの企業に行きたいという、その選び方というのは、学校の先生方の何か指導があるのですか。

それとも全く子ども達が自由に選んでいるのですか。

それが一つ。

あと学校の先生方が必ず、子ども達が来ているときに見学して写真を撮ったりして、現場を見ている学校と、そうでない学校があるのですが、その辺はどのように考えていらっしゃるのか。

○学校教育課長 一つ目については、子ども達の希望は取りますが、どうしても偏りますし、複数校で希望が重なった場合には事業所さんも受入れが難しいということで調整をします。

子ども達には会社体験ではなく、社会体験であるから希望のところでもなくとも、働くことを通して社会体験するんだという趣旨は子どもに伝えて、希望どおりにならない時もあるのですが、そういう意義は示しておりました。

二つ目、学校の職場訪問については、これは必ず事前、活動中、その後やるようには話しておるのですが、来ない学校というのは、そういうことでありましたら、私のほうから、また再度、キチッと行うように話したいと思います。

○小野寺委員 この前、初めて校長先生が自らいらして、一関中学校の校長先生がいらしてました。

さすがだなと思って、子ども達も緊張はするのですが、でも先生方いらっしゃるとホッとするとところもある。

○教育長 小野寺委員さんのところは、毎年受け入れているのですか。

○小野寺委員 必ず。

○教育長 毎年受け入れているんですか。

ありがとうございます。

その他、中学校長であったときにも、逆に実施する方だったと思うんですが、何か感想等あれば。

○伊藤委員 今の言葉どおり、私も実は釜石東中学校の3年間、大東中学校3年間、千厩中学校2年間ですが、私も自ら、全事業所をあいさつ回りに行きました。

子どもをただ預けっ放しじゃなくて、やっぱり学校と会社のコミュニケーションというのは非常に大切なような感じがするんですね。

ですから、当該の事業主さんに、お願いしますというあいさつと、子ども達のご指導をお願いしますと、あいさつをして、全事業所を歩きました。

多い時には2回歩きました。

○教育長 実施しての色々な、千厩中学校ですとか、大東中学校もそうですけども、実施してのどうなんですか。

子ども達の様子とか、保護者の反応とか、その辺りどうでしたか。

○伊藤委員 保護者も、子ども達も非常に変容しますよね。

ここに書いてあるように、本当に好意的でしたし、すごくよかったと思いますけど、ただ事業者の中で、やっぱりその通常の業務から、学生が来るとどうしてもポジションを抜けて対応しなければならないと、この5日間ですね。

何というか、ギャップがあって、そこをちょっところ、小規模になればなるほど大変だっというお声が、私が千厩にいたときはありました。

けれども、先ほど申し上げたように、事業主さんは好意的でした。

そして、学校、子ども達を知ることによって、学校の繋がりができたことによって、学校への理解が深まったということがあって非常によかったです。

○教育長 今度の総合教育会議の中でも話題になるかもしれませんが、今は3日、4日、5日ということではありますが、教育委員会としては、32年度には全中学校5日間ということで、そこについては市全体で取り組むんだという姿勢の基、全中学校5日間の予定で実施する方向で今動いております。

それぞれ色々な意見もあったのですが、子どもにとって非常にやっぱり大きな5日間ありますので、5日間連続でできるかどうかは別にして、3日間は3日間で、あと残り2日をどう学校が繋ぎながらやるかという部分も含めて、今後検討していく予定ですが、32年度には、全中学校5日間の予定で進むことの話としております。

さて、先ほどの幼・小・中・高の学校運営推進協議会について、去年は、弁護士さんに

お話をしていただいたのですが、今年の秋は、もう決まっております、12月18日に去年、秋田で講演を受けました大森山動物園の小松園長先生に来ていただいて、お話を動物における子育てとか、愛情とか、そういったことについて話をさせていただく予定です。

委員さん方、伊藤委員はまた別でしたけども、今年も来ますので、もし時間があれば、是非よろしくお願ひしたいと思います。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、これにつきましては学習の機会ということで終わりたいと思います。

その他(2) 東山小学校校舎等長寿命化改修等工事の基本設計について

○教育長 それでは、このまま続けます。

括弧2、東山小学校校舎等長寿命化改修等工事の基本設計につきまして、これは教育総務課長お願ひします。

○教育総務課長 資料ナンバー3をご覧ください。

A3の横長ものでございます。

この度、一関市立東山小学校の校舎等長寿命化改修計画の基本設計のほうで、委託業者であります山下設計のほうから上がってまいりましたので、その内容について、ご説明いたします。

(説明)

○教育長 ありがとうございます。

それでは、何かご質問等あれば。

○伊藤委員 障がい児童等に対する、バリアフリーに対する配慮というか、この校舎の配慮、どのようになっているのでしょうか。

○教育総務課長 資料の3ページをご覧くださいと思いますが、こちらにつきましては、スロープを設ける計画でございまして、3ページの図面の右下のほうになりますが、児童出入口のところにスロープを設ける予定としてございまして、校舎の右上といいますが、車椅子のマークがあるかと思うのですが、そちらからこの点字ロープが点々点々とありまして、このところが段差のないスペースとなっております。

実際には障がいをお持ちの方のための対策になるかどうか、それ以外の部分もございまして、校舎内にはエレベーターが、ここで言いますと、職員室の上の配膳室とありますが、その下にエレベーター、13人乗りのものを計画してございまして。

○教育長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 その他、いかがでしょうか。

○千葉委員 児童クラブのところですが、ここはいわゆる、学校の閉庁時間が来て生徒たちが校舎に入らないような、施錠みたいな、区別がなされるのかどうか第1点。

第2点として、今の校舎は廊下がクランクして見通しが悪くて死角ができる。

見通しをよくするのは非常に良いことだと思っっているのですが、直接、今回には関わらないかもしれませんが、かつてこういう見通しが悪くなるような、クランクするような校舎にしたのは何か、それなりの利点があったんじゃないかなと思うのですが、もし、その辺がわかれば教えてください。

○教育部長 まず1番目、児童クラブの部分についてですが、3ページの左上の茶色い部分、児童クラブについては、ここの部分に設置する予定でございまして、すぐ隣のところに児童クラブの専用入り口というふうに、通常、夜といいますか、6時頃までの児童に対応するためには、ここが出入り口になりますし、学校の管理の部分と児童クラブの管理の部分で、行けなくなるような、管理するような扉みたいなのを、設置して出入りはできないような形にするようなことになります。

それからクランクの関係ですが、詳細までは不明ですが、旧小学校自体が2回に分けて建築しているようです。

3ページの上の改修前の建物でいきますと、中間辺りに青い点線みたいなのがある部分だと思うのですが、職員用昇降口の左と右で建築年次が若干違ってきますので、当初、左側といいますか、そちらを建てて右側を増築したのか、もしくは右側だけだったのをというようなことで、そのような校舎の配置の関係かというように考えておりますが、直接的な理由というのは把握してございません。

○教育長 一つは、こういういわゆる、なんと言うか芸術性、そういった部分のいわゆるモダンな感じのという部分も、あったのかなというふうには思いますが、定かな部分はわかりません。

○千葉委員 ここだけじゃないですね。

○教育長 そうですね。

○千葉委員 結構、私なんかは、わざと見えなくしたのかなと。

○教育長 機能面よりは美しさとか、いわゆる、芸術まで言うと、ちょっとオーバーですが、新しさ、そういったものを求めた時代があったのではないかなと。

最近の傾向として、各学校で校舎の検討委員会を開いたりして、学校の意向を聞くのですが、学校はどちらかというところ、余計なのは付けずシンプルにしてくれという意見が非常に強いのが最近傾向であります。

一時、いわゆる、オープンスペースが随分はやりましたけれども、あれもやはり善し悪

しで、むしろ、最近はあまり評判がよくないといえますか。

ですから、今回もちゃんと教室に戸をつけるというところが多くなってきています。

○千葉委員 はい、わかりました。

○教育長 他、いかがでしょうか。

○小野寺委員 この学びラウンジというところがあるんですけど、これはどのような使い方をするのでしょうか。

結構、死角になるのではないかなと、ちょっと心配しているのですが。

特別支援教室の間に入っています。

○教育長 ページで言うと。

○小野寺委員 3ページの特別教室が1, 2, 3とあって、2と3の間に学びラウンジってあって、こちらの写真にも、7ページにも。

○教育長 学びラウンジは、特別支援のところの。

○小野寺委員 真ん中に。

○教育長 そうですね、学びラウンジ。

ここは、わかりますか。

○教育部長 ハッキリとお答えできないところがありますが、特に定まった教室ではなく、自由に色んな児童が行って使えるようなスペースを設けたというような部分でですね、確かに今、お話のあったとおり、死角というか、見えない部分ではありますが、ちょうど特別支援教室との間というところもあって、その関係でスペースが必要だと言いながら、何か特別に使う部分もないということで、自由に出入りできる部分というような利用かなと。

○学校教育課長 今、特別支援を必要とするお子さんが増えているのですが、気持ちを落ち着かせる時に別教室で少し休ませることが多くあります。

おそらく、学んでいるときに興奮状態になったときや、気持ちが収まらないときに隣にこういうスペースがあると、今は内部をカーテンで仕切ったりしているのですが、こういうスペースがあると、有効に活用できるのではないかと思うのです。

○教育長 東山で実際に設計など携わっていますので、もし、違った話のときには、次回に、目的について訂正していただきます。

その他、いかがでしょうか。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それではこのような形で基本設計が完成しそうであるということでもありますので、あとは実際の部分は実施設計ということで続くことになります。

それでは、括弧2は終わりたいと思います。

その他(3) 第7回総合教育会議について

○教育長 括弧3、第7回の総合教育会議につきまして、それでは事務局、教育総務課長をお願いします。

○教育総務課長 それでは「第7回総合教育会議について」と記載のある資料をご覧くださいと思います。

(説明)

○教育長 こういう流れで進めますが、あくまで進行の予定でありますので、私のほうで進行いたしますけども、時間は長短あると思いますので、何でも構いませんので、どんどん色々話していただければ、今回のテーマ、非常に大きいテーマでありまして、学校だけに限らずのテーマであります。

1回で済む話ではないのですが、一つ、今回はそれを取り上げてみたということになりますので、色んな方面からのお話をしていただいたほうがいいかなと思います。

何か、ご質問ありますか。

進行もしくは資料等について、いいですか。

ご自分の地域のこととか、あるいは色んなところで得た知識とかも、是非出していただいて、紹介していただくと非常にありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

いいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、第7回の総合教育会議は以上で、その他の括弧3を終わりたいと思います。

東北六県の市町村教育委員会連合会の定期総会と研修会の日程について

○教育長 その他、事務局から何か。

ありますね。

○教育総務課長 7月12日、13日の東北六県の定期総会と研修会、あと長井市への視察の日程について、ご説明いたします。

(説明)

○教育長 そういう予定だということですね。

1日目の施設見学は、私だけ降ろしてもらえれば、それに間に合います。

委員さん方ギリギリでなくていいのですが、そのまま続けていただければと思っています。

どこか山形で、是非皆で視察したいというところもしありましたら、ご希望ありますでしょうか。

いいですか。

ちなみに、講話をする泡淵さんは若い方なのですが、岩手県の葛巻出身で、文科省に入って、そちらから震災当時は石巻市に居て、色々対応に当たったようであります。

この長井市には、教育戦略監ということで、市長部局と教育委員会を兼務しており、教育政策について色々やっている方の方であります。

そういう方の方でありますので、楽しみにしているところあります。

○千葉委員 市役所職員ということになる。

○教育長 今はそうですね。

ただ、いずれ戻るとは思いますが。

○千葉委員 戻るといのは。

○教育長 国に戻るのではないかと思います。

長井市は割と一関でやっていることにも近いようなことも若干ありましたし、やはりそういうお話、考え方についての話も聞いてみたいという部分ありまして、皆で行くことにいたしました。

よろしいですか。

では、当日よろしく願いいたします。

その他の部分で何か皆さん、事務局からはいいですか。

皆さんの方から特になければ終わりたいと思います。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、以上をもちまして、第181回一関市教育委員会定例会を終わりたいと思います。

お疲れさまでした。